

## Contents

- 02-05 商品ものがたり  
 **せいきょう牛乳**  
  
◀ 今回お話を伺った、  
大山乳業農業協同組合  
京都営業所の  
清山所長(右端)、谷口さん(左から2人目)。
- 06-07 そうなんや! 生協  
**楽しい商品がいっぱい! 「コープの宅配」**
- 08-09 食とくらしの安全・安心  
  - ・食の安全・安心  
**「表示で選べる?  
 遺伝子組換えとゲノム編集」**
  - ・くらしの安全・安心  
**「点検商法にご注意を!」**
- 10-11 information
- 12 京都生協・きょうされん京都支部協定30周年記念  
**ロゴマーク・キャッチフレーズ募集/  
 「きょうされんと京都生協のつどい」を開催しました**
- 13-15 読者投稿コーナー ほっとTIME
- 16 四季彩ごはん



も〜も〜担担麺

商品ものがたり

# 牛乳の「品質」に、 こだわってみませんか



▲大自然の中で、ゆったりと牧草を食べすこやかに育つ子牛たち。高地の冷涼な気候ときれいな水もおいしい牛乳づくりを支える要素の一つ



**せいきょう牛乳**

宅配にて毎回企画  
店舗にて取り扱い

※企画回、規格ともに変更になる場合があります

## 組合員と生産者 それぞれの願いが 実を結んで

「子どものころからずっとコレ! たまに切らしてしまっ、他のメーカーの牛乳を買ったら家族から『味が違う』とすぐに言われてしまうんです」という組合員もいる、世代を超えて愛される「せいきょう牛乳」。ほのかな甘さと濃厚な味わいで人気の一品です。京都生協の

産直第1号商品として1970年に誕生し、産地の鳥取と組合員の暮らす京都のつながりは、今年で丸50年になりました。

京都生協では1964年の創立間もない頃、大手メーカーの牛乳の早朝宅配を行っていました。当時は栄養剤や脱脂粉乳を使った加工乳が主流。メーカーからの度重なる値上げ要請が続く中、ヤシ油を混入した牛乳が社会問題となり、

全国の消費者は不安を募らせていました。

一方で、大手メーカーによる生乳の買いたたきに苦しんでいた産地の酪農家たち。鳥取の大山乳業農業協同組合(以下、大山乳業)は、苦境を打破するため、1946年に自らの手で生乳の処理工場を起ち上げ、生産した生乳を自らの工場で加工して販売する一貫体制を構築してきました。そうした中で、「混ぜ物のない牛乳が飲みたい」という組